

日本サニパックの LINE ミニアプリ活用販促キャンペーンで 大幅成果アップを達成し、第2弾の実施が決定

消費財メーカー向け「購入スタンプミニアプリ for メーカー」を採用
レシートデータをもとに流通ごとのキャンペーン状況分析も強化

株式会社アイリッジ（本社：東京都港区、代表取締役社長：小田 健太郎、東京証券取引所グロース：3917、以下「アイリッジ」）とアイリッジの連結子会社でマーケティングに関するコミュニケーションデザイン事業を展開する株式会社 Qoil（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：小田 健太郎、以下「Qoil」）は、両社が共同で展開する「購入スタンプミニアプリ for メーカー」（<https://www.qoil.co.jp/stampminiapp>）を活用し、日本サニパック株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：井上 充治、以下「日本サニパック」）が2023年5月24日より実施する「サニパックと暮らそうキャンペーン 2023」を支援したことを発表します。

日本サニパックは昨年初めて、これまでハガキで実施してきた販促キャンペーンを今回と同じ仕組みでデジタル化し、応募数を大幅に増加させることに成功しました。2度目の今回は、前回お客さまから寄せられたご要望を受け、ネット通販での購入でも応募いただけるように対象を拡大します。また、キャンペーン実施効果の分析も強化予定で、応募されたレシートデータをもとに、流通チェーンごとやエリアごとの応募状況を定期レポートで可視化し、最適化をおこなってまいります。



左：キャンペーンページ / 右：スタンプカード画面イメージ

LINE ミニアプリを活用したキャンペーン実施背景

ゴミ袋と言えば、特性を吟味することなく購買されやすい商品の一つでしたが、レジ袋の有料化後、とって付きを中心に購入量が増えたのはもちろん、わざわざ買うのであれば良いものを買いたいという人が増えています。日本サニパックは、消臭ポリ袋「ニオワイナ (niowaina)」をはじめとして、高い商品力を持つラインナップを展開していることから、LINE という多くの方が使用するプラットフォームを活用したキャンペーンを実施することで、はじめに手に取ってもらおうためのきっかけづくりや、ジャンル違いの商品の購買機会につながる仕組み

づくりを目指し、前回のキャンペーンで多数の新規のお客さまを獲得しました。今回のキャンペーンでは、その方々を含む既存のお客さまの継続購入を促進するとともに、前回同様、新たなお客さまとの出会いをつくることを目指します。

また同社では OMO[※]マーケティングに力を入れ始めており、「購入スタンプミニアプリ for メーカー」で取得できる購買データは、POS データでは把握し切れていない流通ごとのキャンペーン参加状況を分析する有用な情報源として活用されています。

※Online Merges with Offline の略で、アプリ（オンライン）と店舗（オフライン）の区別をせずあらゆるユーザー体験をデータ化し、そのデータを活用して最適なユーザー体験等を提供する取り組みのこと

「サニパックと暮らそうキャンペーン 2023」概要

「サニパックと暮らそうキャンペーン 2023」は、専用の LINE ミニアプリから日本サニパックが提供するゴミ袋やポリ袋等の商品バーコードと購入レシートを読み取ることでスタンプがたまり、LINE Pay 残高やシナモロール オリジナルグッズ等がもらえるキャンペーンです。

応募期間	2023年5月24日（水）～10月31日（火） ※ゲームチャレンジ期間およびエントリー期間は11月10日（金）まで
対象商品	ゴミ袋、食品保存袋、レジ袋、ポリ袋、水切り袋など、サニパック全商品 ※消臭ポリ袋「ニオワイナ」シリーズのみ、1レシートにつき2スタンプ貯まります
応募方法	<ul style="list-style-type: none"> ●STEP1：サニパック LINE 公式アカウントを友だち追加し、トークルームまたはキャンペーンページのボタンから「スタンプを貯める」をタップしてください。 ※はじめて参加する方はLINEにて、サニパック LINE 公式アカウントを友だちに追加してください ●STEP2：対象商品を購入したレシートと商品パッケージのバーコードを一緒に撮影してください。予め撮影した場合、フォルダ内の写真を選択してアップロードもできます。 ●STEP3：レシートとバーコードがシステムで判定され、認証されるとスタンプが押されます。 ※スタンプカード画面にて該当賞品のスタンプをタップすることでゲームにチャレンジできます
URL	https://www.sanipak.jp/line_cp23.html

「購入スタンプミニアプリ for メーカー」について



LINE上にスタンプカードを生成し、商品購入時のレシート画像を読み込むだけでデジタルスタンプがたまり、リピート購入とファン育成を促進できるサービスです

レシートOCRで継続購入を促進

スタンプが貯まる仕組み

- 1 LINE公式アカウントやQRコードからミニアプリに遷移
- 2 レシートを投稿してもらいOCRでユーザーの購買を確認
- 3 条件を満たしていればスタンプを付与
- 4 貯まるとインセンティブがもらえる
抽選ゲームに参加できる

特徴

9,200万人が使うLINEをベースにしているためユーザーに利用してもらいやすい！

ハガキを使った販促キャンペーンからのDXを促進！コストも手間も減少！

ユーザーの購買データに基づくメッセージの出し分けが可能！データマーケティングを実現

「購入スタンプミニアプリ for メーカー」は、スタンプカード機能を持つ LINE ミニアプリを簡単に提供できるサービスで、メーカー企業様の販促キャンペーン DX を促進します。

- 商品購入時のレシート画像を読み込むだけで LINE ミニアプリ上にデジタルスタンプが貯まり、リピート購入を促進。
- 購入ごとに LINE Pay 残高を付与するなどインセンティブ設計も自由に行える。
- 国内月間アクティブユーザー数 9,200 万人（2022 年 6 月時点）を超える LINE アプリ内でスタンプカード機能を提供するため、キャンペーン参加ハードルが低く、多くの参加が見込める。
- レシートデータというオフライン購買データを元に、LINE 公式アカウントを通じてエンドユーザーへの One to One コミュニケーションを実現。

LINE ミニアプリとは

LINE ミニアプリは、「LINE」アプリ上で企業の自社サービスを提供可能にするウェブアプリケーションです。「アプリの追加ダウンロードや煩雑な会員登録不要」等の特長で“快適なサービス体験”をユーザーに提供でき、企業は LINE アカウントに紐づいたユーザーデータを取得*し、自社のサービスの改善や「LINE 公式アカウント」「LINE 広告」等を通じたマーケティング施策に活用いただけます。

*：LINE アカウントと紐づいたユーザーデータの取得には利用者の許諾が必須となります

※詳細はこちら：<https://www.linebiz.com/jp/service/line-mini-app/>

株式会社アイリッジ

株式会社アイリッジは、「Tech Tomorrow：テクノロジーを活用して、わたしたちがつくった新しいサービスで、昨日よりも便利な生活を創る。」という理念のもと、スマートフォンアプリを活用した企業の OMO（Online Merges with Offline）支援を軸に、リテールテック、フィンテック、MaaS、VUI（音声インターフェース）、業務支援等、幅広い領域で DX を支援しています。OMO 支援ではアプリの企画・開発における業界トップクラスの実績に加え、アプリマーケティングにも強みを持ち、データに基づく施策でユーザーを優良顧客へと育成するファン育成プラットフォーム「FANSHIP」を通じて、購買促進や CX 改善の支援を行っています。

<https://iridge.jp/>

株式会社 Qoil

The Switch Design Company ～コミュニケーションのスイッチをデザインして人を動かす会社です～

わたしたち Qoil は、「愛とユーモアと。」を合言葉に、ロジックとアイデア、そしてクリエイティブを化学反応させることで、ヒトやモノ、サービスなどが狙い通りに“動く”スイッチをデザインし、社会や企業のボトルネックを紐解き、戦略策定から企画立案・実行・改善まで並走し、ビジネスゴールへと導きます。オフラインからオンラインまで、双方の利点を活かして融合させた最適なコミュニケーションを強みとしています。

※株式会社デジタルガレージ マーケティングテクノロジーセグメント ビジネスデザインカンパニーを前身とし、会社分割により 2018 年 6 月に株式会社 DG マーケティングデザインとして新設、2021 年 4 月、株式会社 Qoil へ社名変更。2023 年 3 月、アイリッジ 100%子会社化。

<https://www.qoil.co.jp/>

※記載されている各社の会社名、サービス名、商品名等は、各社の登録商標または商標です。